

出会いと学びについて語らい楽しむ 真夏の1日

ケイデック

カフェ

K-DEC Cafe



8月10日 Sun. 11:00~18:00

申し込み不要。出入り自由。何時に来てても何時に帰ってもOK。

ふらっと遊びに来てください (^_^)/



たいせい

会場：泰生ポーチ FRONT

横浜市中区相生町2丁目52

JR「関内」駅 又は みなとみらい線「馬車道駅」より徒歩5分

<https://taisei-po-chi.taiyusha.co.jp/>



参加費 500 円

フェアトレード

豆子コーヒー（ドリップパック1個）とお菓子付き

※会場内のキッチンでお湯を沸かしてコーヒーやお茶を飲むことができます。

主催：かながわ開発教育センター（K-DEC）

共催：東海大学国際学部 協力：横浜YMCA

後援：LOCAL GOOD YOKOHAMA、NPO 法人 横浜コミュニティデザイン・ラボ



紛争避難者、迫害対象者 《難民》の現実

11:00～11:20

ミニ講座「難民問題の基礎知識」

この日のゲストのお話をよりよく理解するために、「難民」「避難民」「補完的保護」などのことばの意味と日本への難民受け入れの状況についてお話しします。

お話：東海大学 難民学習グループ（大学生）

11:30～13:00

「ルワンダの虐殺、私が見たもの」

植民地時代に人為的に分けられた「ツチ」と「フツ」の民族対立。混乱を避けて隣国ケニアに逃れたときのこと。祖国に戻って経験した命の危険を感じるほどの迫害。そして、100万人もの命が失われた1994年の大虐殺。その悲劇がルワンダの人びとに残したものの・・・。

あの時代を生き抜き、今は真美さんと二人三脚で「希望の義足」を作り続けるガテラさんに、その人生を語っていただきます。

お話：ムリンディ／ジャパン・ワンラブ・プロジェクト
ガテラ・エマニュエル・ルダシングワさん

通訳：ルダシングワ真美さん



14:00～14:20

「アルペなんみんセンター訪問記」

日本に来た難民の人たちを支援している民間団体「アルペなんみんセンター」を訪ねたときのことを報告します。

お話：東海大学 難民学習グループ（大学生）

14:30～16:00

ウクライナから日本に来て

横浜YMCAのユース・スタッフとして、ウクライナ支援の活動に関わりながら、学童保育や地域の人たちとの交流活動の中でウクライナのことを伝えているカテリーナさんとリリアさん。カテリーナさんの出身はウクライナ北西部のリウネ、リリアさんは首都のキーウです。

ロシアによる軍事侵攻から逃れ日本に来たお二人に、日本に来て感じたことについてお話をうかがいます。



16:30～18:00

アフタートーク（餃子パーティ）

軽い食事をしながら、ゲストを囲んで気楽なおしゃべり。いろいろ聞いたり話したり。一緒に楽しみましょう。

この時間の参加費（食事代）として、別途 1,200 円が必要になります。



K-DECカフェは、かながわ開発教育センター（K-DEC）のスタッフやその仲間がさまざまなプログラムを用意して、参加者の皆さんと一緒に楽しむ、出会いと語らいの場です。

K-DECホームページ <http://kdec75.wix.com/kdec>

電話 090-1806-8532（木下）